

第33回 地域ダイバーシティin横浜 開催報告

項目		内容
開催テーマ		女性活躍推進と働き方改革
開催日		2021年3月11日（木）
会場		オンライン開催（ZOOM）
報告団体名		損害保険ジャパン株式会社
参加企業	参加団体数	8社
	参加人数	38人
開催内容	タイトル	「産休・育休からの復帰者をいかにするための働き方支援を考える」
	具体的内容	<p>幹事社：（公財）横浜市男女共同参画推進協会 進行：男女共同参画センター横浜 常光館長 様</p> <p>1. 講演 以下内容で講演を実施。 【講義】 「産休復帰者をいかにするための働き方支援を考える」 【講演者】 甲南大学経営学部教授 奥野明子氏 【内容】 &lt;今日のワークショップの目的&gt; ・人事評価制度に関する基本的な知識を学ぶ ・復職者が仕事で育つための仕事配分と人事評価を考える ・様々な制限を持ちながら働く人をマネジメントするためのポイントを知る</p> <p>2. 産休復帰者からの事例紹介 ①A社 ・同一の職場での産休、育休 ・会社のスピードについていけない不安 ・上司から通常時間勤務者と短時間勤務者は同一の目線を向けていると説明を受ける ・質の低い仕事ではなく、挑戦しないといけない仕事を担当 &lt;今後&gt; ・できるできないの仕事の役割配分ではなく、生産性のある仕組みづくり ・多様性の受容ができる職場とする ・今は短時間勤務者であるが、5年先、10年先を見据えた行動をして自身のモチベーションを維持し、将来的には支援する側になりたい</p> <p>②B社 ・復職1年は保育園の預かり時間の関係で6時間勤務（復職2年目からフレックスを活用しフルタイム） ・復職で異動し、未経験の業務を新たに担当することになったが、短時間勤務で通常業務分の仕事をこなしても、そのことをプラスには評価されない⇒最終評価も低かった ・女性が少ない職場（男性が9割） &lt;今後&gt; ・ここ数年の新入社員に占める女性の割合が高くなってきており、様々な職種（総務、人事、営業、技術など）でも復職者が多くなっているのでも少しずついいほうにむかっていくとよい</p> <p>③奥野講師から ・5年、10年をみずえることは大事なこと ・日々大変だが、目線をちょっとながく目線を見ることで気持ちが軽くなる ・復職で職場が変わることはとてもつらいこと⇒できるだけ同じ職場に戻す</p>
	感想・気づいた点	<p>・マミートラックという言葉をはじめて聞いた。その対応方法の「できる」と「できない」を丁寧にきく。強気になって押しつけてあげる。過剰な配慮はいらぬということがとても印象的でした。あらためて自分でも考えてみたいと思いました。※マミートラック：仕事と家庭の両立はしやすいものの、昇進・昇格が難しくなるワーキングマザーがたどりやすいキャリアルート。 ・将来は短時間勤務を必要としない職場、産休をとらなくてもいい職場となること、という言葉は本当にそうだと思います。そしてそれが今のテレワークで、ピンチをチャンスにできればと思いました。</p>
		